

## 組合員のみなさまへ



高知県農業協同組合

代表理事組合長 武政 盛博

### ごあいさつ

組合員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃は当組合の各事業と運営に格段のご理解とご協力をいただいておりますことに、心より感謝とお礼を申し上げます。

当組合は、平成31年1月1日に12JAの合併と連合会機能の一部を統合し、発足しました。今回の合併・統合は、その規模もさることながら、連合会機能をJA高知県の中に取り込んだという点がこれまでにない特徴であり、JAグループ高知の歴史上、初めての試みであります。奇しくも、今年5月より元号が「平成」から「令和」に改められ、一つの時代の節目となりましたが、JAグループ高知もJA高知県の発足により、組織・事業の大きな変革期を迎えました。

さて、農業・農村・JAを取り巻く情勢は目まぐるしく変化しております。国際情勢に目を向けてみると、昨年12月末にはTPP11、今年2月には日欧EPAが発効され、農業はかつてない市場開放を迫られました。現在の日米貿易協定交渉では、米国は日本に対しTPP以上の関税撤廃と早期合意を求めており、予断を許さない状況が続いています。

国内情勢では、農業者の高齢化・後継者不足や本県も大きな被害を受けた自然災害への対処等の課題がありますが、特に喫緊のものとして、政府が進める農協改革への対応が求められます。恣意的にJAを解体しようともとれるこの動きに対しては、組合員・地域の皆様から「JAは地域になくってはならない存在である」という評価をいただくことが必要です。そのためにJAグループでは全国を挙げて「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を重点実施事項とし、「JAグループの自己改革」に取り組んでいます。JA高知県の発足も、事業や組織の再編により経営資源を集中することで、自己改革を達成するための有効な手段の一つとして選択されたものです。

JA高知県は、まだ発足したばかりですが、合併に参加した各JAがこれまで培ってきた組合員・地域の皆様との絆の上に成り立っています。皆様から「JA高知県ができてよかった」との声をいただけるよう、JA経営・運営に努めてまいりたい所存ですので、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。